



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日

上場会社名 名鉄運輸株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 9077 URL http://www.meitetsuunyu.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)内田 互  
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)宮武 積 (TEL)052(935)5721  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	89,335	1.2	4,214	△5.6	4,344	△4.8	2,754	△5.4
2019年3月期第3四半期	88,269	3.7	4,463	10.7	4,564	9.6	2,912	8.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,051百万円(3.9%) 2019年3月期第3四半期 2,938百万円(△6.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	424.94	—
2019年3月期第3四半期	449.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	100,982	38,056	36.5
2019年3月期	94,332	35,343	36.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 36,861百万円 2019年3月期 34,231百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 特別配当 5円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	0.9	4,400	△10.1	4,500	△10.4	2,700	△7.8	416.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	6,509,301株	2019年3月期	6,509,301株
2020年3月期3Q	26,358株	2019年3月期	26,089株
2020年3月期3Q	6,483,050株	2019年3月期3Q	6,483,457株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などの先行き不安による世界経済の減速に伴う輸出入の減少に加え、消費増税の影響により堅調であった個人消費も10月以降急速に落ち込みました。

物流業界におきましては、景気悪化により国内貨物の輸送量が総じて低調に推移するとともに、ドライバー確保のための人件費の増加や、運送委託費の高騰など、依然としてコスト負担が重くのしかかる厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画の基本方針「安心と信頼のこぐま品質を提供する人材力・輸送サービス基盤を強化し、成長の礎とする」を中心とした各施策を推進し、積極的な営業活動と効率経営に努めました。

貨物運送関連では、混載事業を中心に、輸送コストに応じた運賃改定交渉に継続して取り組む一方、名鉄運輸グループオフィスを中心とした提案による新規荷主獲得を進めたほか、奈良大和支店の新規開設などによるグループネットワークの強化など、積極的に新たな顧客需要の取り込みを図ってまいりましたが、取扱量は前年同期を下回る結果となりました。業務面につきましては、日本通運株式会社と連携し、引き続き経営資源の有効活用及び業務効率化を図ったほか、グループ事故三悪撲滅委員会を中心にグループ全社員へ品質向上の啓発活動を継続的に行うとともに、幹線便の早期出発など定時輸送、労働時間短縮への取り組みも継続して行いました。

流通倉庫関連では、夏場の猛暑による飲料メーカーの増産に伴う保管及び輸送需要を取り込んだほか、日用品メーカーの取扱増加など主要顧客の売上が堅調に推移し前期を上回りました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は前年同期比1.2%増の89,335百万円となりましたものの、営業利益は人件費や償却費の増加により、前年同期比5.6%減の4,214百万円、経常利益は前年同期比4.8%減の4,344百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期比5.4%減の2,754百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### [資産の部]

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.5%増加し、21,081百万円となりました。これは、その他流動資産が765百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.7%増加し、79,900百万円となりました。これは、有形固定資産が5,201百万円増加したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて6,649百万円増加し、100,982百万円となりました。

#### [負債の部]

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、35,021百万円となりました。これは、短期借入金が1,918百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10.4%増加し、27,904百万円となりました。これは、長期借入金が2,536百万円増加したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,936百万円増加し、62,926百万円となりました。

#### [純資産の部]

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.7%増加し、38,056百万円となりました。これは主として利益剰余金が2,431百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、第3四半期までの業績等を踏まえ検討した結果、売上高は前回予想を据え置くものの、売上高に比した人件費等のコストが前回予想を上回って推移しておりますため、営業利益は44億円（前期比10.1%減）、経常利益は45億円（前期比10.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は27億円（前期比7.8%減）と前回公表時（2019年5月9日）よりそれぞれ見直いたします。

業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	413	433
受取手形及び営業未収入金	16,453	17,201
電子記録債権	1,289	1,430
商品及び製品	2	3
仕掛品	45	6
貯蔵品	210	234
その他	1,014	1,780
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	19,422	21,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,413	38,075
減価償却累計額	△25,784	△26,418
建物及び構築物(純額)	11,628	11,656
機械装置及び運搬具	39,809	42,152
減価償却累計額	△23,102	△23,992
機械装置及び運搬具(純額)	16,706	18,160
土地	36,105	38,128
リース資産	988	936
減価償却累計額	△702	△740
リース資産(純額)	285	195
建設仮勘定	147	1,773
その他	2,736	3,123
減価償却累計額	△2,131	△2,358
その他(純額)	605	765
有形固定資産合計	65,478	70,679
無形固定資産		
ソフトウェア	1,089	757
その他	373	372
無形固定資産合計	1,462	1,130
投資その他の資産		
投資有価証券	2,373	2,570
長期貸付金	73	71
繰延税金資産	3,032	2,833
その他	2,566	2,682
貸倒引当金	△75	△67
投資その他の資産合計	7,969	8,090
固定資産合計	74,910	79,900
資産合計	94,332	100,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,614	7,553
電子記録債務	4,205	4,172
短期借入金	7,905	9,823
1年内返済予定の長期借入金	3,784	3,016
リース債務	120	93
未払法人税等	991	670
賞与引当金	521	80
その他	8,569	9,610
流動負債合計	33,712	35,021
固定負債		
長期借入金	13,031	15,568
リース債務	152	86
繰延税金負債	251	278
役員退職慰労引当金	224	212
退職給付に係る負債	8,529	8,669
資産除去債務	700	709
再評価に係る繰延税金負債	2,035	2,034
その他	351	345
固定負債合計	25,276	27,904
負債合計	58,989	62,926
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,065	2,065
資本剰余金	6,034	6,034
利益剰余金	22,625	25,057
自己株式	△29	△30
株主資本合計	30,697	33,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	778	901
繰延ヘッジ損益	2	0
土地再評価差額金	3,231	3,230
退職給付に係る調整累計額	△478	△397
その他の包括利益累計額合計	3,534	3,734
非支配株主持分	1,111	1,194
純資産合計	35,343	38,056
負債純資産合計	94,332	100,982

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	88,269	89,335
売上原価	79,805	80,967
売上総利益	8,463	8,368
販売費及び一般管理費		
人件費	2,193	2,269
施設使用料	359	375
その他	1,447	1,508
販売費及び一般管理費合計	4,000	4,154
営業利益	4,463	4,214
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	64	66
持分法による投資利益	2	12
受取手数料	36	33
その他	96	93
営業外収益合計	201	207
営業外費用		
支払利息	61	66
支払手数料	30	4
その他	7	6
営業外費用合計	99	78
経常利益	4,564	4,344
特別利益		
固定資産売却益	146	136
投資有価証券売却益	14	-
その他	6	19
特別利益合計	167	156
特別損失		
固定資産処分損	86	37
その他	15	3
特別損失合計	101	40
税金等調整前四半期純利益	4,631	4,459
法人税、住民税及び事業税	1,446	1,477
法人税等調整額	213	135
法人税等合計	1,660	1,612
四半期純利益	2,970	2,846
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	92
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,912	2,754

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,970	2,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△169	123
繰延ヘッジ損益	△1	△1
退職給付に係る調整額	138	82
その他の包括利益合計	△32	204
四半期包括利益	2,938	3,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,880	2,956
非支配株主に係る四半期包括利益	57	95

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	物流関連事業	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高					
外部顧客への売上高	87,566	702	88,269	—	88,269
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	69	76	△76	—
計	87,573	772	88,346	△76	88,269
セグメント利益	8,171	300	8,472	△8	8,463

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、広告代理事業、設備工事事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社グループは、「物流関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度において、当社グループの事業セグメントは「物流関連事業」と「その他事業」でありましたが、第1四半期連結会計期間より「物流関連事業」のみの単一セグメントに変更しております。

これは、当社グループの情報、施策を一元的に管理するために、事業展開、経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から事業セグメントについて改めて検討した結果、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。